

# 阪神・淡路大震災関連の「自然災害伝承碑」

慰霊と復興のモニュメント・1.17希望の灯り  
(兵庫県神戸市)



平成7年(1995)1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、6,437名の死者・行方不明者を出した。震災を記憶し、復興の歩

みを後世に伝え、犠牲者の慰霊と市民への励まし、大規模災害に対する世界的規模での連帯による復興の意義をアピールする。

神戸港震災メモリアルパーク  
(兵庫県神戸市)



阪神・淡路大震災(1995)で大きな被害を受けたメリケン波止場の一部(岸壁60m)をそのままの状態に保存。神戸港の被災状況や復興の過程を中心に、震災の教訓と港の重要性や、多くの人々が一体となって港の復旧・復興につとめた様子を後世に伝える。

兵庫県南部地震碑「これは」  
(兵庫県明石市) **今回公開**



平成7年(1995)1月17日午前5時46分に発生したマグニチュード7.2の直下型地震「兵庫県南部地震」は、明

石市に死者26名、負傷者1745人、家屋全壊2941戸などの大きな被害をもたらした。碑には、災害から生きのびるためにこの地震をよく記憶することの大切さをよんだ詩が、被害の記録とともに刻まれている。

兵庫県南部地震 モニュメント「明日」  
(兵庫県明石市) **今回公開**



平成7年(1995)1月17日に発生した「兵庫県南部地震」で、明石市の死者は26名であった。横たわった石の先端は震源地を指し、つぶれた部分は地震の大きさを、垂直部分は明日への希望を表している。碑文の下にはタイムカプセルが埋設されており、震災の状況や小学生のメッセージなどが納められている。

神戸震災復興記念公園(みなとのもり公園)  
(兵庫県神戸市)



阪神・淡路大震災(1995)時に全国・世界各地からいただいた支援やボランティアの方々の精神を大きく育てるシンボルとして、また、神戸のまちが復興から発展へと前進する姿を木々の生長と共に見つけていくことを基本理念として整備。

阪神・淡路大震災 西宮市犠牲者追悼之碑  
(兵庫県西宮市) **今回公開**



阪神・淡路大震災の教訓を風化させることなく後世に伝えるとともに、犠牲者への追悼の場とするために整備された公園施設内に設置されている。中央に、西宮市関係の犠牲者の名前を刻銘した碑が、その右に追悼文を、左に犠牲者1146人全壊34181世帯などの震災記録を記した碑があり、震災写真の陶板を貼り付けた円筒碑がこれらを取り囲むように置かれている。

阪神・淡路大震災碑  
(兵庫県西宮市) **今回公開**



平成7年(1995)1月17日午前5時46分に発生した「兵庫県南部地震」では、震度7の激震が芦原地域をおそい、地域で72人の尊い命が奪われた。阪神・淡路大震災を後世へ伝えるために、地域の被災状況を記したプレートとともに設置されている。

鎮魂之碑  
(兵庫県宝塚市) **今回公開**



平成7年(1995)1月17日午前5時46分に発生した「兵庫県南部地震」では、宝塚市を震度7の激震が襲い、死者118名住家全壊3500棟を超える大きな被害があった。碑のタイムカプセルには、犠牲者の名簿や震災の記録などとともに、被災した子供たちの復興への願いがこめられた作文が納められている。